

平成 17 年（2005 年）12 月 21 日

山陽小野田市長 白井 博文 様

まちづくり市民会議「市民まつり検討」部会

提言書

（1）課題名

市民が主役となる「新しい山陽小野田市の市民まつり」について

（2）提言内容

①課題について

本検討部会では、合併前のそれぞれの市民まつり・町民まつりであった二つのまつり（「小野田まつり」・「まつり山陽」）について、「統合する」、「別に新しい市民まつりを創造する」という観点から、市を挙げてのまつりを実施するにはどうするかという点を課題とし、協議を重ねてきた。

②提言内容

本検討部会においては、以下のとおりの結論に至ったので、ここに提言する。

- 1) まつりの名称は「山陽小野田市民まつり（仮称）」とする。
- 2) 開催時期は、11 月頃とする。
- 3) 開催場所は、前夜祭を埴生漁港周辺とし、本祭を山陽小野田市民館周辺とする。
- 4) まつりのコンセプト（概念）は以下のとおりとする。
 - ①山陽小野田市を象徴するまつりであること。
 - ②花火に始まり、花火で終わるまつりであること。
 - ③各年齢層が参画して楽しめるまつりとする。
 - ④日本一のもの（大きい・長い・速いなどパワーを感じるもの）を含むこと。
- 5) まつりは行政主導ではなく、市民参加型とし実行委員会を組織して実施計画の詳細を検討し、市は財政面などを含めて支援を行う。

③提言に至るまでの経緯

提言に至るまでのさまざまな議論については、別に記録している各回会議概要を参照されたい。ここでは、その要旨を以下に挙げるものである。

1) 現在の両まつりを理解する

部会開催当初は、従前の「小野田まつり」「まつり山陽」を一本化できるかどうかという論点で議論を行った。それぞれの由来として「小野田まつり」は産業まつりがスタートであり、それに小野田市・小野田市議会が加わって現在の市民まつりへと発展している。

【次ページにつづく】